

27 工事写真帳作成要領

工事写真帳作成要領

この要領は、施工状況や施工経過等を後日確認するために必要な工事写真帳の作成に関し、必要な事項を定める。

1 工事写真の撮影方法

(1) 工事写真は、工事名、工種等、路線番号、測点（位置）、設計寸法、実測寸法、略図等の内容、受注者名を記載した小黒板を被写体とともに撮影する。

(看板)

工事名称（号線）
種 別
形状寸法
受注者

(例)

〇〇～〇〇幹線
ベース鉄筋
D19 ピッチ 150mm
△△建設

(2) 工事写真の撮影は、被写体の目的を明確にし、構造物の形状寸法、部材の厚み及び鉄筋のピッチ等は、箱尺、巻尺等を対象物に密着させ、目盛の正面より撮影する。

(3) 出来形管理において詳細部の寸法を示す場合は、視野の大きい写真と同一方向からの出来形寸法を明確にする大写し写真を2枚1組として貼付する。なお、構造厚さや高さを示す場合は、箱尺等を立ててメモリ面がよく見えるように水糸を張って撮影しなければならない。なお、不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

(4) 工事写真は、専用のカメラにて連続して撮影する。

2 工事写真帳の編集及び提出

(1) 工事写真は、カラーとし、写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。

ただし、全景写真等の場合は、パノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。

(2) 工事写真帳の編集は、様式1を1ページ目に、出来高図面等を2ページ目に添付し、3ページ以降については、最初に工事着手前と完成後の対比写真を貼付け、以下に工事の施工順序に従い、路線別や工種毎に整理して貼付ける。

また、写真帳の背表紙には、様式2を記載する。

(3) 工事写真は、写真のみで撮影状況及び箇所等が判読し難い場合は、写真帳の余白部に当該写真の説明書き、図面並びに見取り図等を添付する。

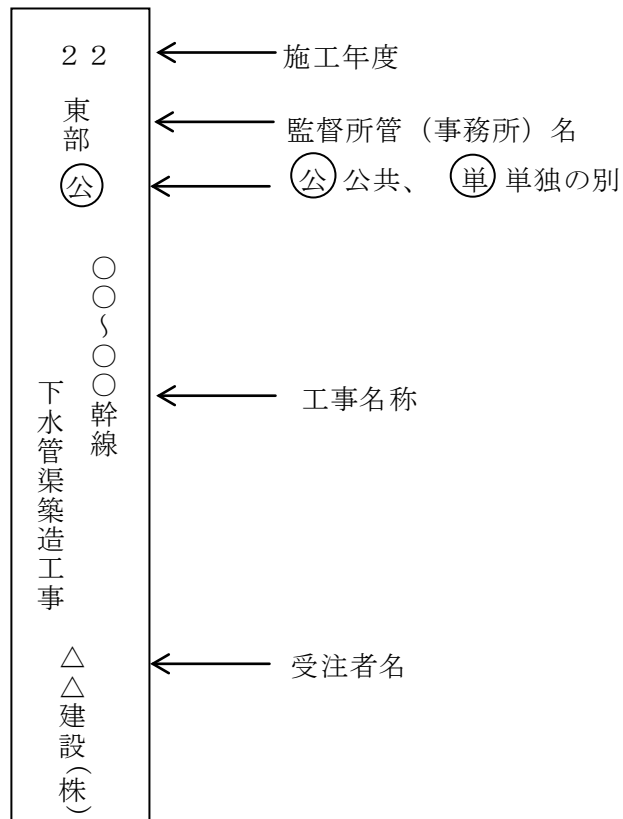
(4) 工事写真帳は、4切版のフリーアルバムを標準とする。

(5) 工事写真の提出は、写真帳及びネガ帳を各1部とする。

様式 1

施工年度		起工番号		費目	
工事名					
工事場所	(排水区)				
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
工種	種別	数値 (出来高)			
受注者	△△建設株式会社 現場代理人 ○○ ○○				

様式 2



3 デジタル工事写真作成要領

工事状況等をデジタルカメラで撮影する場合は、本要領「1 工事写真の撮影方法」及び「2 工事写真の編集及び提出」に準ずるものとし、次の規定によるものとする。

- (1) 「2 工事写真の編集及び提出」に規定するネガ帳に代えて電子媒体を提出するものとする。
- (2) 電子媒体に記録する写真の属性情報等については、次の事項によるものとする。
 - (ア) 電子媒体は、CD-ROM を原則とする。ただし、これ以外の電子媒体の場合については、監督職員の承諾を得るものとする。
 - (イ) 電子媒体の記録画像ファイル形式は、JPEG 形式を原則とし、これ以外による場合には監督職員の承諾を得るものとする。
 - (ウ) 電子媒体に記録する写真については、必要な文字、数値等の内容が判読できる機能、精度を確保できる撮影器材を用いるものとする。（インク・用紙等は通常の使用条件のもとで5年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。）
 - (エ) 写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。
- (3) 電子媒体のデータ格納構成は、前記（2）の規定によるほか、「デジタル写真管理情報基準（国土交通省）（最近改定版）」に準拠し作成する。

なお、作成についての詳細は、監督職員と協議して実施する。

4 工事写真の撮影ポイント

主な工事写真撮影ポイント一覧表

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
施工前後	工事着手前	① 工事路線の全景 ② 舗装路面の状況	各号線毎、 または箇所毎	着手前と完成後 を同一方向・場 所で撮影
	工事完成後	① 工事路線の全景		
準備工	試験掘工 (埋設物調査)	① 試験掘の状況（掘削深さ 等） ② 埋設物の形状寸法・種 類・平面位置・深さ・構 造 ③ 継手突出の寸法・平面位 置	全箇所	試験掘の場所、 埋設物の種類等 を黒板に記載
	事前調査工	① 家屋調査、土質調査、架 空線の状況等	その都度	設計図書のため 及び監督職員の 指示による
仮設工	土留め工 ・ 支保工	① 使用部材の形状寸法 ② 筋掘・掘削の状況 ③ 矢板の建込み（打込 み）・引抜き状況 ④ 矢板と地山の間隙の裏 込め及び引抜き跡空隙 充填状況 ⑤ 支保工の設置・撤去状況 及び設置間隔 ⑥ 各段の間詰めコンクリート ⑦ スクリュージャッキバー状況 ⑧ 横矢板の設置状況 ⑨ （埋戻し時）埋設物下の 横矢板撤去状況	土留め工法別 及び 各号線数箇所	土留め工の全体 が把握できる全 景も撮影 建込み式矢板 ①③④⑤ 鋼矢板 ①～⑦ 親杭横矢板 ①～⑤ ⑦～⑨
	連続地中壁工 (コンクリート壁)	① 機械の搬入・搬出状況 ② 安定液プラント等の設備の 設置・撤去状況 ③ 軌条等の設備の設置・撤 去状況 ④ 安定液の管理状況 ⑤ 発生土及び泥水の処理 状況 ⑥ 鉄筋かごの製作・建込状 況 ⑦ コンクリートの打込み状況	1 施工単位毎	全景も撮影

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
仮設工	地中連続壁工 (ソイル壁)	① 機械の搬入・搬出状況 ② プラントの設置・撤去状況 ③ ガイド [※] 定規の設置・撤去状況 ④ 芯材の建込み状況	1 施工単位毎	全景も撮影
	路面覆工	① 使用部材の形状寸法 ② 路面覆工の設置・撤去状況 ③ 路面とのすり付け状況	各号線毎及び立坑・箇所毎	全景も撮影
	仮排水工	① 設置の状況	設置箇所毎	
	電力設備工	① 設置・撤去の状況		全景も撮影
	工事用道路工	① 設置・撤去の状況		全景も撮影
	仮橋工			
管きよ工（開削） ・本体作業土工	管路掘削掘削工	① 掘削の状況 ② 掘削出来形 ③ 支保工設置前、掘削完了の状況	①③は各号線数箇所 ②は「出来形管理共通」による	全景も撮影
	発生土処理 作業残土処理	① トラックへの積み込み状況	各号線数箇所	仮置きの場合、置場からの搬出状況
	産業廃棄物処理	① トラックへの積み込み状況 ② 搬出状況 ③ 中間処理・最終処分地への搬入状況	②は全車 ③は週1回程度 (50m ³ 以下は1回以上)	黒板に日付、車両番号、マニフェスト番号（または整理番号）等を記載し撮影
	管路埋戻埋戻工	① 埋戻各層の締固め仕上げ出来形 ② 締固めの状況 ③ 各支保工撤去前、管周囲埋戻完了時	①は「出来形管理共通」による ②③は各号線数箇所	全景も撮影
	水替工	① 水替用ポンプの運転状況	号線毎	
	基礎工 (基礎礫・捨てコンクリート)	① 基礎の締固め状況 ② 基礎出来形	①は各号線数箇所 ②は「出来形管理共通」による	全景も撮影

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
管きよ工（開削） ・ 本体作業土工	管基礎工 （砂・砕石基礎）	① 基礎の締固め状況 ② 基礎出来形	①は各号線数箇所 ②は「出来形管理共通」による	全景も撮影
	管基礎工 （コンクリート基礎）	① 基礎の打設状況 ② 基礎出来形 ③ 各打継目（差し筋）処理状況	①③は各号線数箇所 ②は「出来形管理共通」による	全景も撮影
	管布設工 （開削工法）	① 管の布設状況 ② 管布設出来形 ③ （上流用・下流用）マンホール継手の布設状況及び外側管口出来ばえ ④ 内管口出来ばえ（寸法入）	①③④は各号線数箇所 ②は「出来形管理共通」による	管内面通り・管外観及び全景を撮影 ④は人が入れるマンホールに限る
	プレキャストボックスカルバート工	① 「出来形管理共通」による	「出来形管理共通」による	全景も撮影
	ダクタイトル 鋳鉄管布設工	① 管布設出来形 ② 切管布設状況 ③ 管の接合（継手）状況 ④ 管の挿口加工状況 ⑤ 配管状況 ⑥ ポリエチレンスリーブ被覆状況 ⑦ 識別テープ設置状況	①～③は「出来形管理共通」による ④～⑦は管径、かつ施工延長40m以内、変化点毎	継手チェック状況も撮影 全景も撮影
躯体工	型 枠	① 型枠の設置・撤去状況	号線毎、または各箇所の部位毎	近景及び全景も撮影
	鉄 筋	① 鉄筋の組立て状況 ② 配筋・継手長・かぶりの寸法		
	コンクリート	① 現場試験状況 ② コンクリートの打込み・締固め状況 ③ コンクリートの養生の状況 ④ コンクリートの打継目の処理状況 ⑤ 各面取り状況		

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
マンホール工	基礎礫工	① 基礎設置状況	箇所毎	全景も撮影
	組立マンホール	① マンホールの据付状況 ② インバートの設置状況 ③ 穿孔部相互または部材縁と穿孔部の離隔測定状況	①は「出来形管理共通」による ②③各号線数箇所	③は製造団体の定める規格値の近似値となる場合に撮影
	副管設置工	① 副管の設置状況	箇所毎	
ます工	ます設置工	① ますの設置・完了状況 ② 私有管接続状況 ③ 埋戻しの締固め状況 ④ 民有物（土間等）の（不可視部）復元完了状況	「出来形管理共通」による	全景も撮影
取付管工	取付管布設工	① 掘削・土留めの状況 ② 取付管の布設状況 ③ 本管、マンホール、暗渠等への支管取付状況 ④ 既設ますへの取付状況 ⑤ ます外側管口仕上げ状況		近景及び全景も撮影
補助地盤改良工	薬液注入工	① 使用機械の設置状況 ② 削孔・注入の状況 ③ 材料の納入・保管状況 ④ 観測井の設置・撤去状況 ⑤ 地下水の観測状況 ⑥ 改良効果の確認状況	注入の状況は号線毎または箇所毎 材料の納入はその都度 その他は適宜	削孔については削孔深さが確認出来る様に撮影
	高圧噴射攪拌工	① 使用機械の設置状況 ② 削孔・注入の状況 ③ 材料の納入・保管状況 ④ 改良効果の確認状況		
蓋取替工	蓋取替工	① 既設マンホール蓋撤去状況 ② マンホール蓋設置状況 ③ 調整ブロック、架台ブロック据付状況 ④ 使用機器の設置状況 ⑤ 舗装切断・せん断状況	箇所毎	全景も撮影（路面との平坦性が確認できるもの） ④⑤は機械施工による工法の場合に撮影

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
付帯工 (舗装)	舗装版切断	① 舗装路面の切断状況	各号線数箇所及び工種毎 全ての施工箇所の工種毎	全景も撮影
	舗装版破碎	① 舗装路面の取りこわし状況		全景も撮影
	舗装復旧工	① 舗装復旧の作業状況 ② 路盤の締固め状況 ③ アスファルト舗装工(表層・基層)の転圧状況 ④ コア採取～復旧の状況	「出来形管理共通」による	全景も撮影 ②③は各層別に撮影
	路面修築工	① 修築の作業状況		全景を撮影
管きよ工 (推進)	設備工	① 刃口、掘進機、支圧壁、 ② 坑口、クレーン等機械設備の規格、形状、寸法 ③ 鏡切りの状況 ④ 押輪等の据付状況 ⑤ 中押設備の据付状況 ⑥ 泥水処理設備の状況	設置箇所毎	各設備の設置・撤去状況を撮影
	推進工	① 掘進の状況 ② カー、中押カーの据付状況 ③ 発生土の搬出状況 ④ 滑材の注入状況 ⑤ 管目地の状況 ⑥ 管口、管通り、仕上げの状況	号線毎適宜	①⑥は全景も撮影
	裏込注入工	① 使用機器の設置状況 ② 裏込注入の状況 ③ 配合状況 ④ 作業の状況		
管きよ工 (シールド)	シールド機	① シールド機の形状寸法	シールド機毎	
	仮設備工	① シールド機・シールド設備の設置・撤去状況 ② 鏡切りの状況 ③ 坑口、支圧壁、軌条設備等の仮設備の状況 ④ 換気、配管等の坑内設備の状況 ⑤ クレーン設備、基地囲い等の坑外設備の状況 ⑥ 昇降、土砂搬出設備等の立坑設備の状況 ⑦ 泥水処理設備等の状況	設置箇所毎	

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
管きよ工 (シールド)	掘進工	① 掘進の状況 ② 発生土の搬出状況	号線毎適宜	
	一次覆工	① シールド材の装着状況 ② セグメントの搬入、運搬、組立状況 ③ ボルトの締付、再締付の状況 ④ 仕上りの状況 ⑤ 裏込め注入の状況		④は全景も撮影
	二次覆工	① スチールフォームの据付状況 ② コンクリートの打設状況		全景も撮影
杭基礎工	既製杭工	① 杭の形状寸法 ② 機械の組立、解体状況 ③ 杭の打設状況 ④ 杭頭処理の状況	杭の形状、種別毎及び打込み方法別毎	
	場所打ち杭工	① 使用機器の設置状況 ② 掘削の状況 ③ 鉄筋かご等の形状寸法 ④ 鉄筋かご等の建込状況 ⑤ コンクリートの現場試験状況 ⑥ コンクリートの打設状況 ⑦ 杭頭処理の状況 ⑧ 泥水処理の状況	杭の形状、施工方法別毎	
付帯工	移設工	① 移設の状況	箇所毎	
	仮締切工	① 設置の状況	設置箇所毎	
	その他付帯工	① 付帯施設等の設置状況	箇所毎	
安全管理	交通安全対策	① 保安施設の設置状況 ② 保安施設の点検状況 ③ 交通誘導等の状況 ④ 検定合格警備員を含む配置員数状況	号線毎 占用毎	全景も撮影 ④は提出された検定合格証明書と同一人物であることが分かるよう撮影
	地下埋設物等防護対策	① 地下埋設物の埋設状況 ② 吊り防護及び受け防護等の状況 ③ 保安点検状況 ④ 埋戻し直前の状況 ⑤ 埋戻しの状況	箇所毎	

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備考
その他	イメージアップ	① イメージアップのために設置する各施設の状況	号線毎 施設毎	全景も撮影
	現場事務所	① 事務所の設置状況	箇所毎	
	資器材置場	① 置場・保管の状況	箇所毎	
	その他の工事	① 使用材料の形状寸法 ② 使用機械（重機）・機器の設置状況 ③ 施工の状況 ④ 工事目的物の寸法	箇所毎	
	高度技術・創意工夫・社会性等	① 使用機器の設置状況 ② 実施状況 ③ その他、内容が確認できるもの	適宜	全景も撮影
出来形管理共通	各工種	本編添付資料「28 下水道施設土木工事施工管理基準（案）」における当該工種の写真管理基準の規定による		工事目的物の出来形の寸法が容易に確認できるように撮影
品質管理共通	各種材料	本編添付資料「28 下水道施設土木工事施工管理基準（案）」における当該工種の写真管理基準の規定による		品質の検査または試験の状況が確認できるように撮影